

RAKUSAI PUB.LAB.

Workshop Report vol.1



洛西ニュータウンのこれからを市民とともに考え、作り上げるワークショップ“RAKUSAI Pub.Lab. (洛西パブラボ)”の1回目が9月7日に開催されました。

開催概要

日時 2024年9月7日(土) 10:00~12:30
会場 西京区役所洛西支所 2階 大会議室
参加者 37名(京都市若手職員11名含む)

当日の流れ

- 1 あいさつ
- 2 今年度の流れ・ワークショップについて
- 3 自己紹介タイム
- 4 グランドデザインを読む前に
- 5 ワーク①「洛西グランドデザイン2023を読み解こう！」
- 6 ワーク②「洛西のこれからを想像してみよう！」
- 7 ビジョンカード共有

あいさつ

本日は多くの方に参加いただき、ありがとうございます。この取り組みは、市民のみなさんと公共空間を楽しく使いこなし、洛西のまちをより魅力的なものにしていこうというものです。洛西の持つ魅力や特長を活かしながら、公共空間を上手く使ってまちづくりを進めていければと考えております。



京都市 都市計画局
住宅室住宅政策課
八木担当課長

今年度の流れ・ワークショップについて

本ワークショップでは、地域に住むみなさん、活動団体や事業者など、さまざまな年代や知識を持つ人が集まり、対話やインプットを通して学び合いながら洛西の未来を考えます。暮らしを楽しく、地域を良くする活動や支援について話し合い、11月には公園などを使って、理想の暮らしを体現するお試しいventoを行います。

スケジュール

- 1 9/7(土) 10:00-12:30
洛西ニュータウンの魅力とこれから
- 2 9/23(月・祝) 10:00-12:30
理想の暮らしを考えよう！
- 3 10/6(日) 10:00-12:30
楽しく豊かに暮らしていくためのアイデアを考える
- 4 10/19(土) 10:00-12:30
お試し実施にむけた準備をしよう
- お試し実施
5 11/4(月・祝)
まちなかでのお試し実施
- 5 12/14(土) 10:00-12:30
お試しを振り返り、ビジョンをアップデートさせる

自己紹介タイム

20代～70代まで様々な世代、住まい、経験を持つ参加者が集まっています。また、京都市からは、市民と一緒にまちづくりに取り組みたい有志職員も参加しています。お互いを知るため、各々が名札に書いた「#今のわたし」、「#5年後のわたし」をテーブルごとに紹介し合いました。



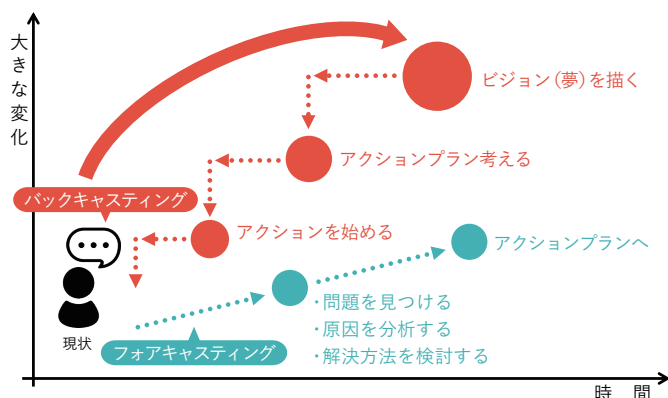
グランドデザインを読む前に

事業の理解を深め、洛西の未来を描く前準備として、昨年度作成された「洛西グランドデザイン2033」を読み込みました。読む前に、グランドデザインができるまでのプロセスと、「バックキャスティング（未来思考）」など、考え方のポイントについて共有がありました。

ポイント

- ・生活のプロである皆さんの行動で地域は変わる
- ・課題解決ではなく、バックキャスティングで考える
- ・グランドデザインを参加者がアップデートしていく

バックキャスティング



ワーク① 洛西グランドデザイン2033を読み解こう！

3人1組となり、グランドデザインのペルソナとエリアごとの将来像を読み込んだあと、テーブル内で各チームで感じたことや気づきを共有しました。



共感するところをペンで
ハイライト



チームごとにまわし読み



感想や気になった
ところをシェア

ワーク② 洛西のこれからを想像してみよう！

読みこんだビジョンを踏まえ、参加者一人ひとりが考える「5年後・10年後の洛西のまちがこうなったらいいな」というビジョンを、文章と絵であらわし、テーブル内で共有したあと、会場に貼り出して全体に共有しました。



ビジョンカード一覧

当日出されたビジョンの内容(一部)を紹介します。多くの意見が出たため、共有の時間で「いいね」のハートが書かれたものを抜粋しています。*()内の数はハートが書かれた数

まち全体が家のように完結するまち

<食>

- ・地域の生産者を中心とした食のサイクルにたくさんの人が参加する (6)
- ・食料自給率が高く助け合いがある (3)
- ・団地 + 畑を楽しむ(ヤギが雑草を食べているかも) (4)

<創作・チャレンジ>

- ・まち全体がアトリエ・創作の場 (10)
- ・チャレンジを応援し合える (3)
- ・日々訪れることのできる仮設の自由な店の風景がある (2)

<その他>

- ・キッズタウン (4)
- ・パブリックスペースに自然と人が集まる (2)
- ・近所の人と一緒にスポーツができる (6)
- ・健康で過ごすのに一番良い (2)
- ・遠出はしなくても近くにわくわくがある (2)
- ・子どもがあふれ住民みんなが家族 (1)

利便性を追求しすぎない新しい働き方

<しごと>

- ・それぞれの好きや得意を活かせる仕事がある (7)
- ・川でドヤリングしながらリモートワークができる (5)
- ・仕事に復帰する人がチャレンジできる場がある (4)
- ・若い起業者が集まり新たなコミュニティがある (3)
- ・平日は川沿いで仕事、休日は音楽や食事等を楽しむ (5)
- ・たくさんの移住者(国内外)が小自然を感じながら、仕事や趣味を楽しむ (3)

<自然を楽しむ>

- ・自然の中で大人は仕事を子どもは自然とたわむれ遊ぶ (5)
- ・川で夜な夜な焚き火がある (5)
- ・粹にお茶を楽しめる公園 (3)
- ・都市の利便性の中に自然の温かみがある (3)

<動物>

- ・馬のいる暮らし (5)
- ・動物とたわむれる (2)

時代に応じた新しい住み方

<芸術・ものづくり>

- ・アーティストが洛西ニュータウンに部屋を借りて創作したり発表ができる (5)
- ・西山の竹林の竹を自由に利用・活用している (5)

<学び>

- ・野外教室のあるまち (3)
- ・子ども達が増え、自ら自由に遊んで学べる (1)

<多様性>

- ・単身者や子育て世帯、高齢者など様々な世代が、ほどよい距離感で支えあえる (4)
- ・家でなく外で仕事をしているなど働き方もいろいろ (3)

<交通・インフラ>

- ・インターの近さを活かした企業誘致 (2)
- ・二人乗りモビリティがある (2)
- ・各地区からラクセーヌへ容易にアクセスできる (1)
- ・新交通システムがある (1)

人とエリアが交流しつながるまち

<農と食>

- ・まちのあちこちで畑(土いじり)ができて、「食えること」で老若男女みんなつながる / 土いじりでつながる (7)
- ・地ビールでその日に会った人とカンパイ (7)
- ・個人醸造所を営む人たちがたくさん集まって、色々なクラフトビールを小畑川沿いで飲み、楽しむ (7)
- ・相席立飲ブリュワリー での出会いがある (3)
- ・農家と話しながら大原野の新鮮な野菜が買える (1)

<思い思いに過ごせる屋外>

- ・本やマンガを持ち寄り若い人たちが木陰で話している (5)
- ・町中に竹のベンチテーブルがたくさん並んでいる (3)
- ・個人が自由にパブリックスペースで活動できる (1)
- ・楽器をひいてる人の横で将棋をしている人、川遊びをしている人、本を読んでもる人、散歩をしている人、マルシェなど (2)
- ・街中でアーティストが演奏できる (2)
- ・公園で犬が水浴びをしている (1)
- ・空いているベース(学校や畑)を活用してにぎわう施設や体験の場が充実 (1)
- ・河川敷での過ごし方が充実している (1)
- ・川の上でテーブルを出して、昼飲み文化が当たり前 (1)
- ・郊外、市外からわざわざ遊びに来る「自然」がある (1)

<つながり>

- ・大人も子どもも「行きつけ」と呼べる場や人が学区単位にある (2)
- ・買い物目的ではなく人に会いに行く (2)
- ・世界一英語ペラペラ！外国の方も住みやすく交流 (3)
- ・子どもたちが社会参加できるしくみがある (2)
- ・歩いて数分以内にお店がありワイワイガヤガヤ近隣の人と飲んでいる (1)
- ・ゆるやかなコミュニティが形成されている癒しがある (1)
- ・移動する拠点(図書バスなど)でにぎわう (2)
- ・いつでも誰かに出会える安心感、ゆるやかなつながりがある (1)
- ・住む人と訪れる人が交わる (1)
- ・単身者もスキルUPできて、自然に出会える (1)

<子ども>

- ・学校跡地の体育館で室内アスレチックができる (6)
- ・子ども達が自然の中でアクティブに遊ぶ場所 (1)
- ・子育て世代が楽しく暮らせる (1)

<イベント>

- ・自然豊かで、アクセスが良い花火大会 (3)
- ・大原野神社に関連した市民手づくりのお祭りがある (1)

傾向

たくさんのビジョンが出ましたが、「人とエリアが交流しつながるまち」に紐づくビジョンがとても多い傾向がありました。また、大原野とのつながりや、自然や河川を活かした暮らし方についてのビジョンも多く出されました。